

東京やぶき会 第34回総会

「東京やぶき会」(昭和57年設立)の「第34回総会」が5月30日、東京都新宿区で開催され、昨年度の事業・決算報告、今年度の事業計画・予算の審議などが行われました。

また、閉会後の懇親会では、郷里や会員の近況報告などの話題に華を咲かせ、親睦を深めました。



■東京やぶき会

東京都や首都圏に在住している矢吹町出身の皆さんの会で、町の様子をお知らせしたり、会員相互の情報交換や親睦の場を提供したりしています。

【事業内容】総会・懇親会の開催。町広報紙や議会だよりの送付。

■会員募集

「東京やぶき会」では随時会員を募集しています。

東京都や首都圏にお住まいの親戚・友人の方などがおられましたら、ぜひ、加入の呼びかけをお願いいたします。年会費は、個人3千円、法人1万円です。

☎「東京やぶき会」事務局 総務課 行政管理係 ☎(42)2111

平成27年10月から、国民の皆さん一人一人に12桁のマイナンバー(個人番号)が通知されます。

- ・地方公共団体情報システム機構から、住民票の住所に通知カードが送付されます。
- ・通知カードを受け取られた方は、同封された申請書を郵送すること等により、役場の窓口で「個人番号カード」の交付を受けることができます。



平成28年1月から、マイナンバーは社会保障、税、災害対策の行政手続で利用します。

- ・年金、雇用保険、医療保険の手続、生活保護や福祉の給付、確定申告などの税の手続など、法律で定められた事務に限って、マイナンバーが利用されます。
- ・民間事業者でも、社会保険、源泉徴収事務などで法律で定められた範囲に限り、マイナンバーを取り扱います。

行政の効率化

行政機関や地方公共団体などで様々な情報の照合や入力などに要している時間や労力が大幅に削減されるとともに、より正確に行えるようになります。

国民の利便性の向上

添付書類の削減など、行政手続が簡素化され、負担が軽減されます。情報提供等記録開示システムによる情報の確認や提供などのサービスを利用できます。

公平・公正な社会の実現

所得や他の行政サービスの受給状況を把握しやすくなり、脱税や不正受給などを防止するとともに、本当に困っている方にきめ細かな支援を行えます。

法律で定められた目的以外でマイナンバーを利用したり、他人に提供したりすることはできません。

- ・他人のマイナンバーを不正に入手したり、正当な理由なく提供したりすると、処罰されることがあります。
- ・マイナンバーと結びついた個人情報を保護するため、様々な対策を講じます。

☎ 企画経営課 政策調整係 ☎(42)2112

私のひと言



矢吹町長 野崎吉郎

「日本人の心を思う」

FIFFA女子ワールドカップカナダ2015が、今日6日から始まった。連覇を狙う「なでしこジャパン」は9日、スイスと初戦を戦い、1対0で勝利。幸先の良いスタートを切った。TVを見ながら思った。夢よ、もう一度。四年前、日本中を感動の渦に巻き込んだ「世界一」の栄冠を再び掴んでほしいものだ。私ははじめ日本人の誰もが願っていることだ。

初戦の試合開始前のセレモニー。日本の国歌「君が代」が流れる。ユニフォームの日の丸に手を当て、誇りに満ちた表情を見せる選手の姿が映し出される。試合が始まり、グラウンドでは、ブルーのユニフォームの選手達が躍動する。スタンドでは、「日の丸」の小旗が振られ、そして大きな「日の丸」の旗もなびく。「日の丸」を背負い戦う選手の姿に、いつにも増して、私の心は大きく揺さぶられた。とい

うのも、先月号で紹介した、境野勝悟氏の著書「日本人のこころの教育」を読んだ影響が大きい。国歌「君が代」とは、「日の丸」とは、の問いに分かり易く解説しているこの本を読んだ後だっただけに心に響く感動の波が大きかったのだと、容易に気付いた。

そもそも「日の丸」が、日本の国旗として、いつ、誰によって制定(布告)されたかを知る人は、数少ないのではと思う。私も、実はこの本を読むまでは知らなかった。NHK大河ドラマの「花燃ゆ」が現在放映中。その時代、「国」とは「藩」のこと。その概念を打ち破り、276余の「藩」を一つの国「日本」として位置づけたのが、激動の幕末期だった。

鎖国政策を続ける日本に対し、開国を迫るアメリカやフランス等の列強国。夷狄からの侵略を阻止しようと立ち上がった時期が、「日の丸」国旗を布告した時期と書かれている。

アメリカのペリー一行が、徳川幕府に対し、強硬に開国を迫り、日本の浦賀沖に姿を見せたのが1853年。この時停泊していたアメリカの、いわゆる「黒船」には、アメリカ合衆国の国旗「星条旗」が、堂々と海風に舞っていた。開国を迫るペリー。来年まで

返事を待つてほしいと切望する幕府の重鎮。日本を去るペリーは忠告する。「アメリカの黒船の周囲には、たくさんの小さな日本の船がやってくるが、旗をつけていない。日本には、ナショナル・フラッグ(国旗)というものが無いのか。旗をつけていない船は国籍が分からないから、大砲を撃ち込んで沈めてしまってもいいことになっている。来年までには、日本の国旗をつけているように」と。これを受けて幕府は大慌て。来春までにナショナル・フラッグを決めようと決議したものの、すんなりと「日の丸」に決まった訳ではない。

時の幕府の重鎮、島津藩主島津斉彬の存在は大きかった。城内の座敷から桜島に上がる朝日を見て、「あのさわやかな輝きを出ずる太陽の光を以て、鎖国の夢を覚まさなければならぬ。日本の将来は、古代から日本人がいのちの恩として愛してきたがやく太陽のようであらねばならぬ。」と考へ、そして、この太陽のマーク「日の丸」を日本全体の総船印とすることを提案し、決定。時は1854年。その後、国旗として今に至る。

なお、参考までにもう一つの候補が「申黒」。白地の中央に黒の横一文字であったそうで、つくづく「日の丸」で

良かったと思うのは、私一人ではないのでは。

次に、もう一つのテーマ、国歌「君が代」であるが、やはり知らないことだらけだ。まず、いつ頃作られたのか。この本を読んで驚いた。今からおよそ800年も前の鎌倉時代というから驚きだ。1228年に書き写された「和漢朗詠集」という歌集に出ているとある。

君が代は 千代に八千代に さざれ石の いはほととなりて こけのむすまで

「君が代」の「君」とは、あなたという意味。「代」とは、寿命とか、いのちの意味。「千代に八千代」とは、いまでも長く続きますように、「さざれ石の いわおとなりて、こけのむすまで」とは、細かい小さな石(さざれ石)が、長い年月の風化によって大きな岩のかたまりになって、その岩にいつばい苔が生えるようになるまで、いつまでも元気に長生きして下さい」と更に驚くことに、実はこの「君が代」のもととなった「古和歌集」に載っているというのである。

題しらず 読んしらず わがきみは 千世にやちよに さざれいしの いはほとなりて こけのむすまで

つまり、この歌は題名もな

く、作者名もわからないという。面白いのは、この歌が平安時代(800年頃)のある女性が、愛する男性に送った「恋のうた」であるということである。

私たちの国歌「君が代」の原歌が何んと、平安時代の女性の恋のうただったとは。でも、実に素敵なことだと私は思う。更に、驚くことがもう一つ。この歌が作られたのは平安時代。つまり「君が代」は、あの「ギネスブック」に世界で最も古い国歌であると記録されているということである。

私たちの祖先は、太陽をいのちの原因と考え大事にしてきたことは、すでに前月号にも書いた。

日出ずる国日本。「日の本」つまり、「私たちのいのちは太陽が元である」ということであり、この本は「太陽のよりに丸く、明るく、豊かに、元気に生きる。これが日本人です。」と解説している。奇しくも、この原稿を推敲している今、「なでしこジャパン」が2戦目も勝った。ユニフォームは、ブルーから太陽のよりに輝くイエローだ。実に眩しい。

輝く太陽の下、日本人の心を忘れず、今日からの日々を元氣良く、明るく過ごすことを誓い、今月のひと言とする。